



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月10日

上場会社名 パンチ工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6165 URL <http://www.punch.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 CEO (氏名) 森久保 哲司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 CFO (氏名) 村田 隆夫

TEL 03-5753-3130

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

2022年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	21,665	11.0	1,537	13.1	1,524	12.2	905	28.0
2022年3月期第2四半期	19,523	26.7	1,768	464.7	1,736	365.7	1,258	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,889百万円 (24.8%) 2022年3月期第2四半期 2,316百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	40.62	40.20
2022年3月期第2四半期	57.67	57.56

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	32,449	19,271	59.2
2022年3月期	28,774	16,307	56.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 19,225百万円 2022年3月期 16,264百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		4.00		9.00	13.00
2023年3月期		6.50			
2023年3月期(予想)				6.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,300	12.6	3,100	1.9	3,070	2.1	1,850	9.3	81.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	22,962,400 株	2022年3月期	22,332,400 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	241,539 株	2022年3月期	275,868 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	22,303,554 株	2022年3月期2Q	21,827,306 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本及び世界経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）の感染症対策と経済活動制限緩和との両立により、経済・社会活動の正常化が進み景気の回復が期待されたものの、地政学リスクの高まりによる原材料・資源価格の高騰や世界的な部材不足等に加え、歴史的な円安の進行などにより、依然として先行き不透明な状況で推移しました。また、製造業では、原材料・資源価格高騰や供給面での制約が顕著となり、半導体部品を始めとする一部の製造部品の不足などから、先行き不透明な状況で推移しております。

このような環境のなかで当社グループは、2022年4月よりスタートした3ヵ年の中期経営計画「バリュークリエーション2024（以下、VC2024）」において、ものづくりにおける自動化・省人化需要を新たな成長エンジンとして、常に「お客様の第一候補」であり続けることを「当社のありたい姿」として設定いたしました。前・中期経営計画の残課題や企業価値の向上に向け、「新規・既存事業の拡大」「生産体制の強化」「R&D強化」の3つを重点経営課題として掲げるとともに、これらの課題への取組みを支える経営基盤の強化策として「DX推進」「財務戦略」「サステナビリティ」を推進しております。

なお、「新規・既存事業の拡大」への取組みの一環として掲げる「FA領域の“特注品”の販売拡大」実現のための施策としては、2022年10月にFA機器設計・製作を手掛ける株式会社ASCe（アस्क、以下、ASCe）の全株式を取得し、子会社化いたしました。食品加工・自動車部品・電子デバイス・医療関連等のFA機器の自社開発に強みを持つASCeを当社グループに加えることで、双方の販路の有効活用や技術交流等によるシナジー効果が発揮され、VC2024の経営目標の達成と、当社グループの中長期的な企業価値の向上につながるものと考えております。

経営成績に目を向けますと、COVID-19感染拡大からの回復基調に加え、円安による為替換算上の影響もあり、全ての地域において前年同期実績を上回る売上となりました。なお、当社グループの決算期は、当社及びピンテック、インドパンチは3月となっておりますが、これらを除くグループ各社の決算期は12月となっております。2022年1月から6月の業績が当第2四半期連結累計期間の業績となります。

この結果、国内売上高は6,977百万円（前年同期比1.2%増）、中国売上高は12,109百万円（前年同期比16.0%増）、東南アジア地域の売上高は986百万円（前年同期比17.2%増）、欧米他地域の売上高は1,592百万円（前年同期比18.7%増）となり、連結売上高は21,665百万円（前年同期比11.0%増）となりました。

また、業種別では、自動車関連は9,115百万円（前年同期比12.4%増）、電子部品・半導体関連は4,122百万円（前年同期比0.3%減）、家電・精密機器関連は2,213百万円（前年同期比7.4%増）、その他は6,214百万円（前年同期比19.2%増）となりました。

利益面につきましては、売上増と連動した販売費及び一般管理費の上昇のほか、製品への価格転嫁を上回る仕入れコストの上昇による原価率悪化等の影響、為替変動による海外子会社の採算悪化等により、営業利益は1,537百万円（前年同期比13.1%減）、経常利益は1,524百万円（前年同期比12.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は905百万円（前年同期比28.0%減）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は32,449百万円となり、前連結会計年度末と比較し3,675百万円の増加となりました。これは、主として売上債権の増加等によるものであります。

総負債は13,178百万円となり、前連結会計年度末と比較し711百万円の増加となりました。これは、主として支払手形及び買掛金の増加、電子記録債務の増加等によるものであります。

純資産は19,271百万円となり、前連結会計年度末と比較し2,964百万円の増加となりました。これは、主として為替換算調整勘定の増加及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等によるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは825百万円の収入（前年同期は1,392百万円の収入）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益1,417百万円、減価償却費554百万円の非資金損益項目の他、棚卸資産の増加額142百万円、売上債権の増加額148百万円、未払金及び未払費用の減少額888百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは588百万円の支出（前年同期は638百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出600百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは421百万円の支出（前年同期は1,131百万円の支出）となりました。これは、短期借入金の減少額367百万円等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は4,978百万円となり、前連結会計年度末に比べ309百万円の増加となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年8月9日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,816,271	5,089,894
受取手形	2,043,258	1,520,497
売掛金	9,191,812	11,413,051
商品及び製品	2,408,754	2,830,131
仕掛品	813,141	822,125
原材料及び貯蔵品	1,569,159	1,769,728
その他	485,384	724,196
貸倒引当金	△48,002	△41,705
流動資産合計	21,279,780	24,127,919
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,905,167	6,311,618
減価償却累計額	△4,140,358	△4,398,855
建物及び構築物（純額）	1,764,809	1,912,762
機械装置及び運搬具	16,310,582	17,954,399
減価償却累計額	△12,703,869	△13,825,208
機械装置及び運搬具（純額）	3,606,712	4,129,190
工具、器具及び備品	2,514,054	2,809,188
減価償却累計額	△2,081,516	△2,309,661
工具、器具及び備品（純額）	432,538	499,526
土地	778,847	785,006
建設仮勘定	168,440	229,032
その他	392,570	493,585
減価償却累計額	△131,311	△226,243
その他（純額）	261,259	267,342
有形固定資産合計	7,012,607	7,822,861
無形固定資産		
その他	177,903	202,542
無形固定資産合計	177,903	202,542
投資その他の資産		
投資その他の資産	317,431	311,952
貸倒引当金	△13,623	△15,326
投資その他の資産合計	303,807	296,626
固定資産合計	7,494,318	8,322,031
資産合計	28,774,098	32,449,950

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,738,725	3,453,725
電子記録債務	1,078,059	1,121,407
短期借入金	1,774,655	1,665,315
1年内返済予定の長期借入金	710,978	877,560
未払法人税等	384,126	387,972
賞与引当金	400,265	888,808
役員賞与引当金	17,183	7,873
その他	2,897,059	2,178,933
流動負債合計	10,001,052	10,581,595
固定負債		
長期借入金	907,890	876,299
退職給付に係る負債	1,145,220	1,224,474
その他	412,726	495,751
固定負債合計	2,465,836	2,596,525
負債合計	12,466,888	13,178,120
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,944,776	3,074,778
資本剰余金	2,512,189	2,660,085
利益剰余金	9,057,592	9,745,101
自己株式	△136,301	△119,343
株主資本合計	14,378,256	15,360,622
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,962,065	3,983,455
退職給付に係る調整累計額	△75,761	△118,531
その他の包括利益累計額合計	1,886,303	3,864,924
新株予約権	26,130	24,681
非支配株主持分	16,518	21,601
純資産合計	16,307,209	19,271,830
負債純資産合計	28,774,098	32,449,950

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	19,523,718	21,665,915
売上原価	13,659,592	15,617,085
売上総利益	5,864,126	6,048,830
販売費及び一般管理費	4,095,613	4,511,588
営業利益	1,768,512	1,537,241
営業外収益		
受取利息	23,634	28,450
作業くず売却益	10,806	18,025
その他	25,211	20,787
営業外収益合計	59,652	67,263
営業外費用		
支払利息	30,230	26,764
為替差損	47,115	45,255
その他	14,801	7,504
営業外費用合計	92,147	79,524
経常利益	1,736,017	1,524,981
特別利益		
固定資産売却益	1,425	4,241
特別利益合計	1,425	4,241
特別損失		
固定資産除売却損	2,455	9,992
減損損失	47,963	101,331
特別損失合計	50,419	111,323
税金等調整前四半期純利益	1,687,024	1,417,899
法人税、住民税及び事業税	366,844	356,068
法人税等調整額	59,834	153,280
法人税等合計	426,678	509,349
四半期純利益	1,260,345	908,550
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,500	2,681
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,258,845	905,869



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,260,345	908,550
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,039,706	2,023,791
退職給付に係る調整額	16,051	△42,769
その他の包括利益合計	1,055,758	1,981,021
四半期包括利益	2,316,103	2,889,572
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,314,173	2,884,489
非支配株主に係る四半期包括利益	1,930	5,082

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,687,024	1,417,899
減価償却費	470,041	554,947
減損損失	47,963	101,331
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	34,432	17,144
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,991	△9,310
賞与引当金の増減額 (△は減少)	388,495	455,309
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,950	△10,401
受取利息及び受取配当金	△23,634	△28,450
支払利息	30,230	26,764
為替差損益 (△は益)	△680	4,692
固定資産除売却損益 (△は益)	1,030	5,750
売上債権の増減額 (△は増加)	△503,073	△148,109
棚卸資産の増減額 (△は増加)	112,169	△142,061
仕入債務の増減額 (△は減少)	322,892	△34,581
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△565,237	△888,764
その他	△172,608	△126,025
小計	1,835,086	1,196,134
利息及び配当金の受取額	23,634	28,450
利息の支払額	△32,008	△12,610
法人税等の支払額	△433,917	△386,427
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,392,795	825,547
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△29,904	36,063
有形固定資産の取得による支出	△568,230	△600,803
有形固定資産の売却による収入	3,588	11,166
無形固定資産の取得による支出	△24,402	△50,703
無形固定資産の売却による収入	—	5
長期貸付金の回収による収入	4,851	4,102
敷金及び保証金の差入による支出	△40,494	△5,231
敷金及び保証金の回収による収入	16,688	16,658
その他	△1,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△638,902	△588,742
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△647,713	△367,170
長期借入れによる収入	—	367,170
長期借入金の返済による支出	△358,934	△362,634
割賦債務の返済による支出	△40,719	△41,623
リース債務の返済による支出	△40,187	△77,121
株式の発行による収入	—	258,555
配当金の支払額	△43,637	△198,508
その他	4	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,131,188	△421,332
現金及び現金同等物に係る換算差額	276,774	494,213
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△100,520	309,686
現金及び現金同等物の期首残高	3,962,135	4,669,180
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,861,614	4,978,867

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年4月26日から2022年9月27日の間に野村證券株式会社による新株予約権の行使に伴う増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が130,002千円、資本準備金が130,002千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が3,074,778千円、資本準備金が641,093千円となっております。

(セグメント情報)

当社グループは、金型用部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式取得による会社等の買収)

当社は2022年10月19日開催の取締役会において、F A機器設計・製作を手掛けるA S C eの全株式を取得し、子会社化することについて決議いたしました。

1. 株式取得の目的

当社グループは、2022年度から2024年度の3ヵ年を計画期間とする中期経営計画「V C 2024」を策定し、ものづくりにおける自動化・省人化需要を新たな成長エンジンにして、常に「お客様の第一候補」であり続けることを「当社のありたい姿」として設定し、重点経営課題として「新規・既存事業の拡大」「生産体制の強化」「R & D 強化」の3つを掲げております。

この度、重点経営課題の一つである「新規・既存事業の拡大」への取組みの一環として掲げる「F A領域の“特注品”の販売拡大」実現のための施策として、A S C eの全株式を取得することといたしました。

食品加工・自動車部品・電子デバイス・医療関連等のF A機器の自社開発に強みを持つA S C eの株式を取得することで、双方の販路の有効活用や技術交流等によるシナジー効果が発揮され、「V C 2024」の経営目標の達成と、当社グループの中長期的な企業価値の向上につながるものと考えております。

2. 株式取得の相手先の名称

後藤 亮太、武井 昭規

3. 買収する会社の概要

名 称	株式会社A S C e
所在地	北海道札幌市白石区菊水九条三丁目2番23号
事業内容	F A機器設計・製作
資本金	15,000千円
設立年月日	2004年11月1日

4. 株式取得の時期

2022年10月26日

5. 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

異動前の所有株式数	0株	(持分比率	0%)
取得株式数	300株	(持分比率	100%)
取得価額	550百万円		
異動後の所有株式数	300株	(持分比率	100%)

6. 支払資金の調達方法

自己資金